

議会だより

臨時会

令和5年第3回臨時会は5月17日に招集され、提出された案件を審議し、閉会いたしました。

承認

◎専決処分の承認を求めることについて

○令和4年度北竜町一般会計補正予算(第12号)について

規定予算に36,129千円を追加し、予算総額を3,780,445千円とする補正予算

○令和4年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)について

規定予算に3,393千円を追加し、予算総額を284,867千円とする補正予算

○令和4年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第5号)について

規定予算に1,581千円を追加し、予算総額を471,860千円とする補正予算

○令和4年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第6号)について

規定予算に412千円を減額し、予算総額を224,300千円とする補正予算

原案可決

○令和5年度北竜町一般会計補正予算(第1号)について

規定予算に675千円を追加し、予算総額を3,700,675千円とする補正予算

行政視察

6月5・6日、町理事者と担当課長出席の下、一部事務組合と町内行政視察を実施しました。

一部事務組合視察(5日)

- ・北空知衛生施設組合
- ・深川地区消防組合
- ・北空知圏学校給食組合
- ・北空知衛生センター組合
- ・北空知広域水道企業団

町内視察(6日)

社会教育施設、商業活性化施設ココワ、永楽園、町立診療所、恵岱別ダム、桜岡団地、しらかば並木公園、サンフラワーパーク北竜温泉、みのりつち、眺望の丘、ひまわりパークゴルフ場、ひまわりの里 他



6月6日 町内視察

【佐々木議長が空知町村議会議長会会長再任】

5月19日に空知町村議会議長会臨時総会が開かれ、佐々木議長が会長に再任されました。町民の皆様からの益々のご協力をお願い申し上げます。

活動報告

【6月】

- 2日：北海道議長会理事会
- 3日：真竜小学校運動会
- 5日：一部事務組合行政視察
- 6日：町内行政視察
- 12日：簡易水道事業決算審査(監査委員)
- 13日：北方領土復帰期成同盟空知地方支部通常総会
- 14日：議会運営委員会
- 15日：北海道町村議会議長会総会・議長・局長研修会、真竜神社春季例祭、戦没者慰霊祭
- 16日：電気自動車を活用した災害対応力の強化と脱炭素社会に向けた連携協定締結式、議会報告会
- 17日：やわら保育園運動会
- 22日：議会運営委員会、第2回北竜町議会定例会
- 26日：例月出納検査監査委員
- 27日：総務産業常任委員会、町内会長との懇談会
- 28日：空知町村議会議長会役員会
- 29日：北竜町消防演習・110周年記念式典
- 30日：議長杯PG大会

活動予定

【7月】

- 4～5日：町内各団体長による中央要望、北海道町村議会議長会議員研修会及び道内行政視察
- 6日：北空知中央要望結団式、北空知衛生センター組合臨時会
- 11日：北空知消防演習
- 12日：空知町村議会議長会議員研修会
- 19日：新任議員研修会
- 24日：一部事務組合臨時会
- 28日：北空知議員研修会及び親睦交流会
- 未定：例月出納検査（監査委員）、総務産業常任委員会



議員コラム

今期2期目町議会議員の証書をいただいた。1期目の4年間は先輩議員の見様見真似、懸命に任務に赴く社会勉強から始まった。

議員になるきっかけは何のことではない、全道女性農業者のネットワーク『きたひとフォーラム』で掲げられたスローガン「私に出来ることがあれば：（使ってください）」と。地域で自分から手を挙げて出ていこう、に単純に従っただけ。

新規就農で米作りに移り住んで30年近く過ごしてきた、農業に引きこもりがちだった生活。居心地の良い地域づくりとは？と議員の資質や予備知識もないまま、流れてきたチャンスに身の程知らずに飛び乗った。そこは制度の中で

作り出していく社会。意外に知らない社会の仕組みをあらためてここで学ぶ。

今期は何処の町でも担い手不足が深刻な現状。離れた次元のことではなく自分事として是非志す仲間が欲しい。町は個人から繋がって地域になり、居心地の良い場所が欲しいと感じたなら、自分本位ではなく制度を知り、平等性を持って認め合っていく社会を目指すこと。お互い愛ある関心を育てていきたいと心から願っている。今後は町民が望む、バランスの取れた社会の実現のために、何を調べどうやって前進できるかのスキルを学びたい。

わが家は農家なので広い敷地がある。3年ほど前から鶏を飼い始め、雌雄選べない自

家繁殖なので、賑やかな雄叫びが未明から響き渡る。普段は虫や草を啄み、屑米も屑野菜も無駄なく食糧になる。食品の廃棄はなく、畑へは鶏糞堆肥の循環の中の放し飼い鶏環境での生活。

鳥インフルの影響による深刻な卵不足の解消と、卵の価値・食料の大切さを見直しながら、環境が許されるなら二ワトリ仲間になりませんか。

（尾崎 圭子）

